

22160 卒業研究（演習）g Graduation Study and Seminar			4 年次 通年 4 単位
担当者	鯨井 隆	履修可能学科	F
		関 連 資 格	
サブタイトル	食と心身の健康		
授業内容 ・ ねらい	食と健康に関する研究法は多岐にわたるが、この演習では健康に関する比較的基本的な問題に視点をあてた研究の方策（実験計画法）を勉強し、研究テーマの具体的研究デザイン・方法論から学習する事が特徴である。特に、健康科学には「目に見えるもの」と「目に見えないもの」が有る。何れも数値化し統計学的検討をして行く事になるが、本演習では後者を対象とした研究法に力を注ぎたいと考えている。つまり、健康面には「目に見える」 器官等の変化と言うよりは、「目に見えない形」で健康を支える心身（心と体）相互の働きを研究して行く内容を取り上げて行きたいと考えている。従って、必ずしも目で判る健康観と言うよりも、研究法に向けた論理的な思考法が重要と成る。この意味では、論文作成に当たり、国際誌の学術論文を読んだり、論理展開に関する整合性・妥当性・信頼性等にも指導を行う予定である。最終的に、栄養学と疾病学の総合的な学習から、社会に還元できる研究法と論理展開法の一助として行きたい点が授業の基本的な狙いである。		
授業計画	1. 研究テーマ（研究目的）の決定と研究法等に関するディスカッション 2. 実験計画法（研究の仕方、統計学など） 3. 実験・調査等の実施（関連する他の研究結果、国際学術論文の検索とその活用） 4. 解析・考察等（論理学・国際学術論文等の活用） 5. 論文の作成（整合性・妥当性・信頼性等の総合的視野による検討も含む）		
教科書 参考書	参）『よくわかる実験計画法』（近代科学社） 参）『バイオサイエンスの統計学』（南江堂）		
評価方法	実験、論文内容を中心に総合的に評価する。また、出席状況も考慮する。		
事前準備学習 履修条件等	個人またはグループ（2～5人）ワークとなる。なお、常にノートと英語辞書と簡易計算機を準備する事が望ましい。		